

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	岩元 努議員	<p>1 フューチャースクール推進事業のタブレット端末等整備計画について</p> <p>2 県道針持さつま永野線(407号)改良要望について</p>	<p>(1) 平成 29 年度、当初予算に盛り込まれたフューチャースクール推進事業計画に基づき、自治体の規模や状況に応じて、中長期的な見通しを持った導入計画が重要だと思う。以下について説明、見解を伺う。</p> <p>ア 各学校へのタブレット端末の展開計画 (PC教室リプレース時に導入、モデル校設置など)</p> <p>イ 教育サポート体制の設計 (ICT支援員の派遣、教員研修会など)</p> <p>ウ 運用ルールの設定 (タブレット端末の管理、利用規約など)</p> <p>エ 無線LAN環境の設計 (交付金等活用した、インフラ整備のコストダウンなど)</p> <p>(1) 県道 407 号線、旧 J R 宮之城線を通して、国道 504 号線につなぐ計画を、県地域振興局に要望する事は出来ないか。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	畑中 香子議員	1 市長の政治姿勢について	(1) 新年度予算編成方針は、「歳入確保と歳出抑制を集中的に実施」としているが、今後の交付税の見通しや歳出の検証について (2) 歳入を過小に見積り、歳出を過大に見積もることで市民サービスと公的責任を後退させているのではないか。	市長	
		2 水俣病と国保財政について	(1) 国保の給付費が伸び、国保会計への多額の繰入れが必要だが、伊佐市固有の問題として水俣病に罹患している方の治療費が多額に上がることが考えられる。水俣病として認定されることにより、国からの交付金が受けられ、患者の方も安心して治療が受けられる。きちんと検証し、対策を行うことによって国保会計への繰入れも減少することになると考えるが、見解を伺う。	市長	
		3 ごみの収集について	(1) 家庭の粗大ごみ収集については各自が自ら処理場まで持ち込み廃棄しなければならず、運搬の手段を持たない人にとっては粗大ごみの廃棄が困難になっている。せめて月 1 回の粗大ごみ収集を行うべきではないか。 (2) ごみ袋が県下で 2 番目に高いが、一部事務組合への一般廃棄物のごみ処理負担金が減額になってきていることから、ごみ袋の値下げを検討するべきではないか。	市長	
		財産の減額貸付について	(1) 12 月議会で市有地の減額貸付を議決したが、この件について市長は、林建設と九州電力との契約を確認したか。 (2) 新聞報道により、林建設が大きな利益を上げることが市民は印象として持っているが、なぜ減額する必要があったのか。 (3) 50%の減額割合となった理由を示せ。	市長	
1		1 米の生産調整につ			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	森田 幸一議員	<p>いて</p> <p>2 WCS用稲の栽培対策について</p> <p>1 子育て支援につい</p>	<p>(1) 平成 28 年度、水田に作付した主食用米・飼料用米等の面積を伺う。</p> <p>(2) 米の直接支払交付金 7,500 円と、生産調整（生産数量配分通知）が平成 30 年度から廃止となるが、稲作農家に与える影響と本市の課題について伺う。</p> <p>(3) 伊佐水田農業を守るためには、水田を活用した戦略作物等（大豆、飼料作物、飼料用米、WCS用稲、加工米等）の生産に対する交付金の維持拡大を、国の方へ強く要望していかないと、本市の水田農業は守れないという心配があるが見解を伺う。</p> <p>(1) 平成 28 年度までのWCS用稲の作付面積及び作付品種について、年次ごとに伺う。</p> <p>(2) 現在、主食用米を作付している栽培農家が多いと思うが、なぜ専用品種の拡大を図れないのか。これまでどのような取組を行ってきたのか伺う。</p> <p>(3) 栽培農家が植え付けから刈り取る前までは管理をし、事業者等が収穫から販売までされる。収穫については、特に専用機械での作業になる。事業者等が、専用機械等を使っての作業料と販売価格の差を生産農家に精算される。現在事業者任せになっているが、作業料等を含めて、標準的な統一した対策を講ずることはできないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	谷山 大介議員	て	<p>(1) 車座対話で知事と話をする機会があり、鹿児島県政においての子ども医療費についてお伺いし、知事は鹿児島の人口が減っていて、少子高齢化が進んでいる。来年度は子育て支援に厚く力を入れたい。県政も財政は非常に厳しいが、メリハリをつけ確保していくととても前向きな話をしていた。高校卒業まで子ども医療費の無料化を新設できないか伺う。</p> <p>(2) 子ども医療費のメリットとデメリットは何か。</p> <p>(3) 前回の 12 月議会でも質問をしたが、子ども医療費の財源について以下のことを伺う。</p> <p>ア 財政調整基金が現在 62 億積み立てられている。予算を絞り捻出できないか伺う。</p> <p>イ この 8 年で行ってきた人口増の政策でどの程度成果が出ているのか。</p> <p>ウ 今後、人口が減り地方交付税が減っていくとの答弁だが、減っていくのは若い世代であり、子ども医療費もそれに伴い減少する。他の政策に影響を及ぼすとは考えにくい。また人口が減少で医療費が変わらなければ子どもが増えている。見解を伺う。</p> <p>エ 前回の答弁で、子ども医療費の拡充について、単年度的にはできるが、10 年 20 年 30 年後の財政補償はできないとのことだった。10 年 20 年 30 年後の歳入と歳出のシミュレーションを伺う。</p> <p>オ 子ども医療費を未就学まで無料にした場合の試算は。</p> <p>カ 3 歳未満を 5 歳未満まで無料に引き上げると試算は。</p> <p>キ 3,000 円の自己負担を 1,000 円まで引き下げた場合、試算はいくらか。</p> <p>ク 2,000 円に引き下げた場合、試算はいくらか。</p> <p>(4) 恒常的な支出の多額のお金とはおおむねいくらか。</p> <p>ア 保育料の助成の予算は恒常的な多額の支出にはあたらぬのか。</p> <p>イ 保育料の助成を新設するとき、どの政策を廃止したのか伺う。</p> <p>(5) 子ども医療費の助成は県下 19 市中最低で、全国の自治体でも多く</p>	市長	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	谷山 大介議員	<p>2 小中学校における冷暖房について</p> <p>3 市職員の労働環境</p>	<p>の自治体が助成をしている。再度伺う。今、やるべきではないか。</p> <p>(6) 子ども医療費無料化を新設して財政難に陥った自治体はあるのか。</p> <p>(7) 子ども安心医療費助成制度について</p> <p>ア 県が中学校卒業まで窓口無料化した場合、この制度はどうなるのか。</p> <p>(8) 子ども医療費資金貸付制度について</p> <p>ア 周知は行われているのか。</p> <p>イ 1年間当たり対象者はどの程度いるのか。</p> <p>ウ 相談の電話も無いと聞いた。原因は何か。</p> <p>(1) 1時間目や2時間目の教室の温度は。</p> <p>(2) 学校環境衛生基準に規定してある測定で測った温度は。</p> <p>(3) 学校環境衛生基準がガイドラインから法律化され守らなくてはならない基準という認識はあるか。</p> <p>(4) 学校環境衛生基準について。</p> <p>(5) 学校環境衛生検査の実施率は。</p> <p>(6) 伊佐市内の学校でもしもやけ等の児童生徒はないか。</p> <p>(7) 自助の限界はないか。</p> <p>(8) 冷えによる身体への影響はないか。</p> <p>(9) 4月から9月は最高気温が30度を超える。エアコンは設置しないのか。</p>	教育長	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	谷山 大介議員	について	(1) 今回起こった不祥事で担当職員が足りなかったと話していた。適正な人数にしたのか。 (2) 今回の人事異動で、職員数が減ることもあったと聞いた。職員の負担は増えないのか。 (3) 残業が一番多い課で平均して年間残業はどのくらいか。 (4) サービス残業は発生していないか。 (5) 残業の把握方法は。 (6) 職員の年休取得率はどのくらいか。 (7) 産休の取得率は。 (8) 育児休暇の取得率は男性女性でそれぞれどれくらいか。 (9) 官製ワーキングプアは発生していないか。 (10) ワーキングプアの定義は。	市長	
		1 ふるさと応援寄附			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	植松尚志郎議員	金（ふるさと納税）について	<p>(1) ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）額は 27 年 4 月～9 月と 28 年 4 月～9 月を比較すると 3.24 倍増となっている。本事業にはいろいろメリットがあるので今後も頑張ってもらいたい。</p> <p>そこで、</p> <p>ア 本年も増加が予想されるが、執行部はどのように考えているのか。</p> <p>イ 返礼品は伊佐の特産品（伊佐米・焼酎）等が送られると考えられるが、別のものを送る考えはあるのか。</p>	市長	
		1 施政方針について			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち8枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	今村 謙作議員	2 消防団員の確保について 1 子ども・子育て支	(1) 施政方針の中の重点施策の3点目に「移住・定住のための新たな展開」と掲げてある。この中の空き家バンクの創設も併せて、新しい移住・定住の取組に向けて窓口の強化を図るとあるが、具体的な内容は。 (2) 現在、新規の市職員の採用時に、3年間の条件で消防団に入団するとある。非常に有難い制度であるが、なるべく地元の団員が望ましいが、どのように考えているのか。	市長 市長	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	柿木原榮一議員	<p>援制度の現状と対策について</p> <p>2 伊佐市の公園の実態とこれからの公園管理について</p> <p>1 伊佐市の子育て世</p>	<p>(1) 放課後児童クラブの現状と、「ニッポン1億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)を踏まえ「放課後子ども総合プラン」に基づく放課後児童クラブの受け皿確保を平成30年度末に実施するため、施設整備費の補助率嵩上げを継続、運営費補助基準額の増額、放課後児童支援員等の人材確保対策などで29年度予算案が支援されるとあるが、伊佐市の対応について。</p> <p>(2) 利用者支援事業・実費徴収補足給付事業・多様な主体算入促進事業で出てくるが伊佐市の考え方の説明は。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの法改正で「市町村行動計画」から「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定はできそうか。</p> <p>(4) 事業の実施の促進の市町村の公有財産(学校の余裕教室など)の貸付け等による事業の促進はできそうか。</p> <p>(5) 各自治体の施策内容等の把握、進めていくため、鹿児島県児童クラブ連絡協議会に加入している状態、動向について伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐市の公園の維持管理ができていないか。遊具施設の撤去がすすんでいるか。</p> <p>(2) 公園の開園、閉園時間は設定してあるのか。計画的遊具施設の有無は。</p> <p>(3) 公園等で夜間、スケートボードの練習を若者が行い、騒音の関係で近隣から苦情が出ているが、対策はできているか。</p> <p>(4) 生きづらさを抱えることが多い若者のストレス発散、道路を利用して交通事故の可能性が出てきており、公園等にスケートボードの専用使用場の設置はできないものか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	山下 和義議員	代の状況について 2 国民健康保険等の	<p>伊佐市は子育て日本一を目指し、いろいろな施策を実施していることは理解している。ただ、今、日本の子どもがいる現役世代の相対的貧困率は 15.1%でそのうち、ひとり親世帯の相対的貧困率は 54.6%と高い水準となっている。先日の南日本新聞の報道で、鹿児島市は来年度、実態調査や子ども食堂設立の支援対策として「子ども未来応援事業」を実施すると報道されている。</p> <p>行政はどこに目を向けていくのか、本当に支援が必要としているのはどのような人たちなのか、 そこで次のことについて、市長・教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐市も実態調査等が必要になると思う、調査を実施する考えがあるか。</p> <p>(2) 市長として伊佐市の子育て世代の相対的貧困についてどのように捉えているか。</p> <p>(3) 乳幼児医療費等に対して県の現物給付は今のところ実施できる見込みがない。窓口負担に困っている世帯に対して使いやすい貸付金に制度改正して行くことは出来ないか。</p> <p>(4) 低所得者向けの「入学準備金」はいつ支給されているか。</p> <p>(5) 修学旅行等に行かない児童生徒の生活実態をどういう風にとらえているか。</p> <p>(6) 子ども食堂等の設立は難しいと思う。何か支援策等考えられないか。</p>	市長、教育長	

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	山下 和義議員	条項の情報発信について	<p>市は、財政について地方交付税が減少傾向にあり、社会保障関係費用や維持補修費用の更なる増加が見込まれるため「本格的な行財政改革」を実施しなければならない状況にあるとしている。そのような中、平成 29 年度の国保会計への法定外繰り出し金は 2 億 7 千 5 百万円である。平成 28 年第 1 回定例会でも言ったが、平成 27 年 3 月に伊佐市集中改革プラン（後期）を策定し、今後 5 年間の財政計画を示した。その中で、国保会計への法定外繰り出しには、平成 27 年度から 5 年間、毎年 1 億 5 千万円としていたが、27 年度からそれを大幅に上回る繰り出し金をしてきている。</p> <p>そこで、次のことについて市長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 平成 28 年度の県下 19 市の保険税の状況、医療費の状況、また、平成 29 年度に法定外の繰り出し金を入れない場合、保険税をどの程度上げたら賄えるのか示していただきたい。</p> <p>(2) 30 年度から県が国民健康保険の保険者となる。ここ数年の法定外繰り出し金の正確な情報は市民には伝わっていないと思う。30 年度以降の国保会計への法定外の繰り出し金はどうなるのか。</p> <p>(3) いつの時点で国民健康保険の現状を市民に真摯に説明して負担を求めるのか。その周知方法は。</p> <p>(4) 今、いろいろな形で情報が氾濫している。ただ、自分たちに都合の良い書き方で人気をとるフェイクニュースまがいの物もある。市長も我々議員も、今だけ、自分だけ良ければ将来伊佐市がどうなろうと良いという考えは持っていないと思う。将来の伊佐市に対し、また、将来の伊佐市民に対する責任の重責を感じながら今この場にいると思う。そのためには正確な情報発信をしていかなければならない。市民に負担を求めるときは、特に正確な情報を伝えなければならない。市報等の情報を今以上に出していただきたいと思う。市長の見解を問う。</p>	市長	
		1 伊佐の農業に答え			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	久保 教仁議員	を出せ	<p>(1) 国の減反廃止への対応策は。 来年の 2018 年産米から、国による米の生産数量目標の配分がなくなる。転作作物を含め、水田に何を作付するか判断を急ぐべきだ。生産調整にどう対応するのか。</p> <p>(2) 混合飼料工場誘致の進捗状況は。 カミチクは、飼料用稲の生産を委託している阿蘇地区に飼料工場建設を計画していた。熊本地震で契約農家が被災したことで、伊佐に工場建設をとの話がある。工場誘致にどのように取り組んでいるのか。誘致実現に何が必要か。</p> <p>(3) 伊佐ブランドとしてカボチャと長ネギに力を。 園芸振興事業・野菜価格安定対策事業等、毎年約 1,000 万円・産地交付金の基幹作物助成・団地加算助成で 2,300 万円ほど投入している。だが、ブランドには程遠い。保冷庫など導入し、通年出荷できる体制を整えるとともに、カット野菜やドライベジタブルなど 6 次産業へ取り組み、外食産業へ繋げることが出来ると考えるが、どうか。</p>	市長	
		1 生活困窮者、子ども			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	武本 進一議員	もの学習支援について	(1) 本市におけるスクールソーシャルワーカーの現在の配置とその活動状況について伺う。 (2) 子どもの貧困について、どのように考えているか伺う。 (3) 不登校などの事情で、複雑な課題を抱えている子どもの家に支援員として、家庭訪問することが重要と思うが、見解を伺う。 (4) 生活困窮世帯の子ども的人数はおよそ何人くらいか伺う (5) 生活困窮世帯の子どもの学習支援についてその考えを伺う。	市長、教育長	
		1 企業誘致について			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	鶴田 公紀議員	<p>2 大雪に対するマニュアルについて</p> <p>3 人事管理状況及び事務量等について</p>	<p>(1) カミチクの飼料工場誘致の検討は。</p> <p>(2) 昨年 3 月議会で大雪に対するマニュアル等検討課題を提起したが結果は。</p> <p>(1) 福祉課の二次判定問題のその後の経緯について。</p> <p>(2) 職員定数 (350 人) に対する実人員数は何人が 市長部局 (定数 266 人) 議会部局 (定数 6 人) 選管部局 (定数 2 人) 監査部局 (定数 2 人) 教委部局 (定数 55 人) 農委部局 (定数 7 人) 公営部局 (定数 12 人) 派遣職員 (南三陸町 人 甲佐町 人) 嘱託職員 (人 臨時パート職員 人)</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	
		1 汚泥再生処理セン			

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

平成 29 年 3 月 6 日・7 日・8 日

(16枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	沖田 義一議員	<p>ターの施設整備及び既存の衛生センターの閉鎖について</p> <p>2 国道 267 号と広域農道の交差点(曾木地区)の信号設置について</p> <p>1 行財政改革による</p>	<p>(1) 平成 24 年度から 29 年度まで、6 年間の事業であるが総事業費はどの程度となるのか。</p> <p>(2) 本格稼働は平成 30 年 4 月とあるが、その間の移行スケジュールについて伺いたい。</p> <p>(3) 管理瑕疵について伺いたい(管理瑕疵期間等について)。</p> <p>(4) 既存の衛生センターの閉鎖の期日、また、閉鎖までのスケジュール、作業等について</p> <p>(5) 解体し更地にする計画について伺いたい。長期間放置しておくこと公害が心配されないか。</p> <p>(6) 解体費用の見積もりについて伺いたい。</p> <p>(1) 国道 267 号と広域農道の交差する曾木地区の交差点の信号機の設置について伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

